

令和8年度 学校推薦型選抜 I

鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻・作業療法学専攻

小論文

- ・開始の合図があるまで、表紙は開かないでください。
- ・問題用紙は、2枚です。
- ・解答用紙は、2枚です。
- ・下書き用紙は、2枚です。
- ・解答開始の合図があったら、解答を始める前に、問題用紙、解答用紙、下書き用紙の枚数を確認してください。数が合わない場合は手を高く挙げ申し出てください。
- ・受験番号と氏名を全ての解答用紙に必ず記入してください。
- ・解答は、全て解答用紙に横書きで記述してください。また、必ず問題1は問題1の解答用紙に、問題2は問題2の解答用紙に解答してください。
- ・問題用紙と下書き用紙は、持ち帰って構いません。

令和8年度 学校推薦型選抜Ⅰ 小論文問題 【問題1】

－理学療法学専攻・作業療法学専攻－

【問題】 下の表1は介護保険法の要支援又は要介護と認定された者のうち、在宅の者のいる世帯について、世帯構造別に年次推移を示している。また、表2は2022(令和4)年における世帯の世帯構造別にみた要介護度の構成割合を示している。これらの表からわかる在宅介護の状況変化を説明し、高齢者が住み慣れた環境でできるだけ長く生活するためにはどのような対応が必要か、あなたの考えを380文字以上400字以内で述べなさい。

表1 世帯構造別にみた「要介護者等のいる世帯」の構成割合

(単位：%)

年次	単独世帯	核家族世帯	(再掲) 夫婦のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	(再掲) 高齢者世帯
2001年	15.7	29.3	18.3	32.5	22.4	35.3
2004年	20.2	30.4	19.5	29.4	20.0	40.4
2007年	24.0	32.7	20.2	23.2	20.1	45.7
2010年	26.1	31.4	19.3	22.5	20.1	47.0
2013年	27.4	35.4	21.5	18.4	18.7	50.9
2016年	29.0	37.9	21.9	14.9	18.3	54.5
2019年	28.3	40.3	22.2	12.8	18.6	57.1
2022年	30.7	42.1	25.0	10.9	16.4	61.5

表2 世帯構造別にみた「要介護者等のいる世帯」の「要介護者等」の要介護度

(単位：%)

2022(令和4)年

現在の 要介護度	総数	単独世帯	核家族 世帯	(再掲) 夫婦のみの 世帯	三世帯 世帯	その他の 世帯	(再掲) 高齢者世帯
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
要支援者のいる世帯	32.8	43.6	29.1	29.2	26.1	26.9	35.5
要介護者のいる世帯	64.9	53.5	69.0	68.3	72.4	70.9	61.8

注：1) 「現在の要介護度」とは、2022(令和4)年6月の要介護度をいう。

2) 「総数」には、要介護度不詳を含む。

3) 世帯に複数の要介護者等がいる場合は、要介護度が高い方に計上した。

4) 「要支援」とは日常生活動作についてはほぼ自分で行うことが可能であるが、要介護状態の予防に向けて何らかの支援が必要な状態である。「要介護」は日常生活動作について自分で行うことが困難であり何らかの介護が必要な状態を指す。

資料：厚生労働省 2022(令和4)年 国民生活基礎調査の概況より引用・一部改変

令和8年度 学校推薦型選抜Ⅰ 小論文問題 【問題2】

－理学療法学専攻・作業療法学専攻－

〔問題〕 筆者は下線部のように「あなたが意図した通りに伝わっているか、正しく理解されているかどうかは、実際のところ、「あなたとは関係のないところ」で決まってしまう、と言ってもいいかもしれません。」と述べています。課題文を読んで、自分の意図を相手に正しく伝えることができなかった経験およびその原因として考えられることを示し、コミュニケーションにおいて、自分の意図を正しく理解してもらうためにはどのように伝えるべきかを380字以上400字以内で述べなさい。

〔課題文〕

私たちはあらゆる物事についてスキーマを持ち、それを当たり前のものとして考えています。言い換えれば、ある人の「わかる」「わかった」は、あくまで「その人のスキーマ」を通してのものであるということ。

あなたが意図した通りに伝わっているか、正しく理解されているかどうかは、実際のところ、「あなたとは関係のないところ」で決まってしまう、と言ってもいいかもしれません。なぜなら、相手が「わかった」かどうかはその人がどういうスキーマを持ってあなたの話を聞いているかに大きく依存してしまうからです。

「言ってもわかってもらえないのは、言い方のせいではない」「伝わらないのは、伝え方のせいではない」というのは、こういうことなのです。

ですから、相手が「わかった!」という態度を示していたとしても、それを鵜呑みにしてはいけません。

なぜなら、自分が期待したように理解されているかどうかは、定かではないからです。相手のスキーマに沿って独自に解釈されている可能性は大いにあります。

翻って考えると、自分が「わかった!」と思ったときにも注意が必要です。本当にあなたは、相手が意図しているように理解できているのでしょうか……?

人は皆、自分の知識の枠組みであるスキーマを持っています。つまりそれは、「自分なりの理屈を持っている」ということです。人の話はすべて、自分のスキーマというフィルターを通して理解されます。そういった意味で、スキーマは「思い込みの塊」でもあります。

出典『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか? 認知科学が教えるコミュニケーションの本質と解決策』(今井むつみ 著、株式会社日経BP、2024年)

注1: 問題を理解しやすくするために下線をほどこした。

注2: 原本は縦書きであるが横書きに変更した。